埼玉県屋内50m水泳場・川口市北スポーツセンター及び神根西公民館　整備計画

施設外観イメージ
（西側から東方を望む）

景観形成基準の適用除外について

当該事業区域の大部分は、川口市景観計画により建築物の高さの最高限度は10mと規定されています。
施設の公益性を踏まえ、周辺景観との調和に配慮した計画とします。

1.公益性と10mを超える理由

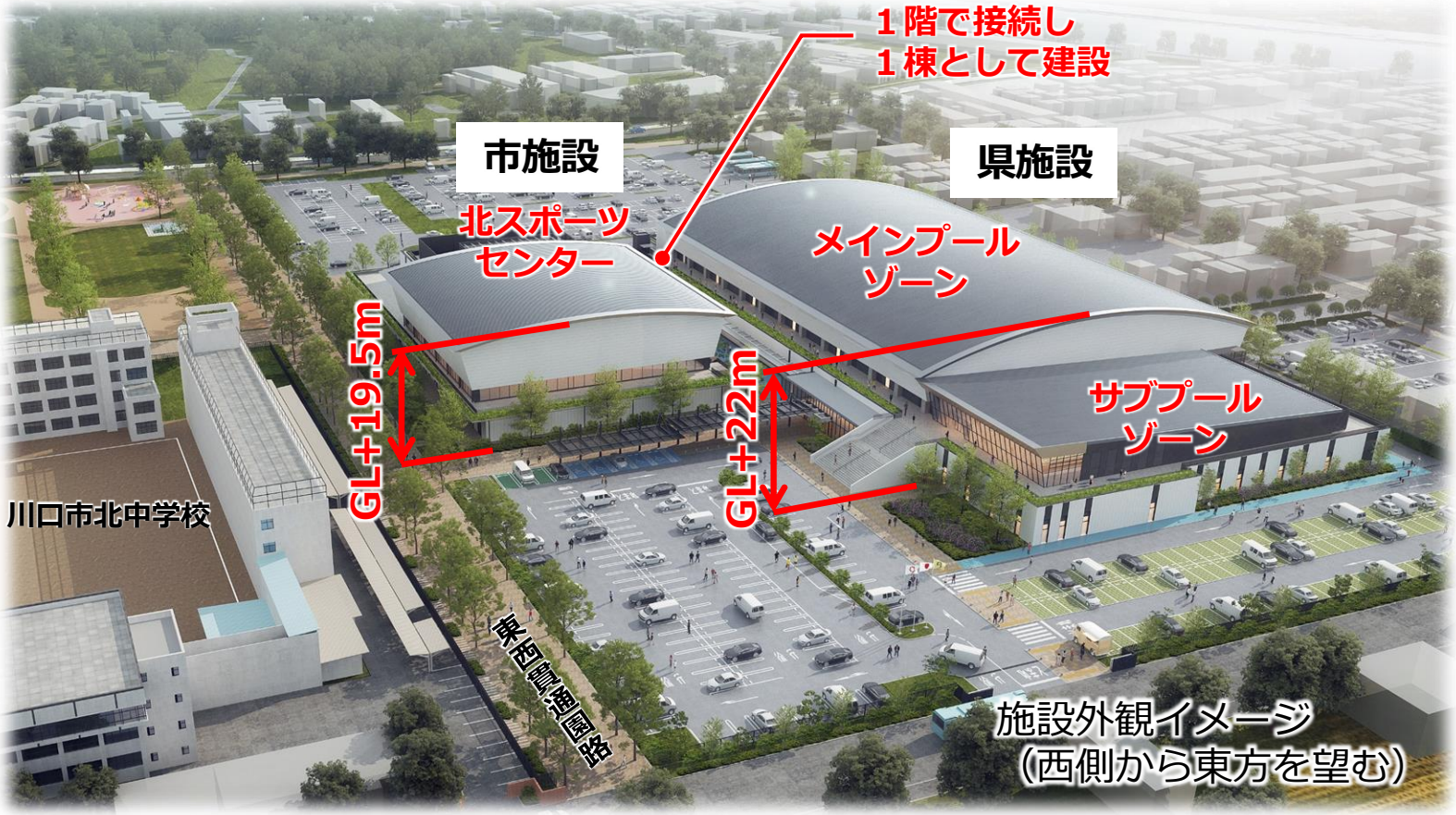
・屋内水泳場の整備
・既存体育館の建替え
・県屋内水泳場と市体育館を合築し、1棟として建設する

2. 周辺景観との調和

・ひとや場所をつなぎ、にぎわいを生む
・地域の自然景観と調和した風景づくり

3.その他配慮

・施設による近隣への圧迫感の軽減
・川口市立北中学校への日影の配慮



施設外観イメージ
（西側から東方を望む）

1.公益性　事業の主旨について　県施設：埼玉県屋内50m水泳場

- 日本水泳連盟公認の県内初の公営屋内50m水泳場を整備し、アスリートの競技力の向上につなげるとともに、国内主要大会を開催し、水泳の普及振興を図る。
- 1年を通して天候に左右されず誰もが水に親しむ環境を創出し、県民の健康増進・スポーツ実施率の向上を図る。

メインプールゾーン内観イメージ

サブプールゾーン内観イメージ

1.公益性　10mを超える理由　**県施設：埼玉県屋内50m水泳場**

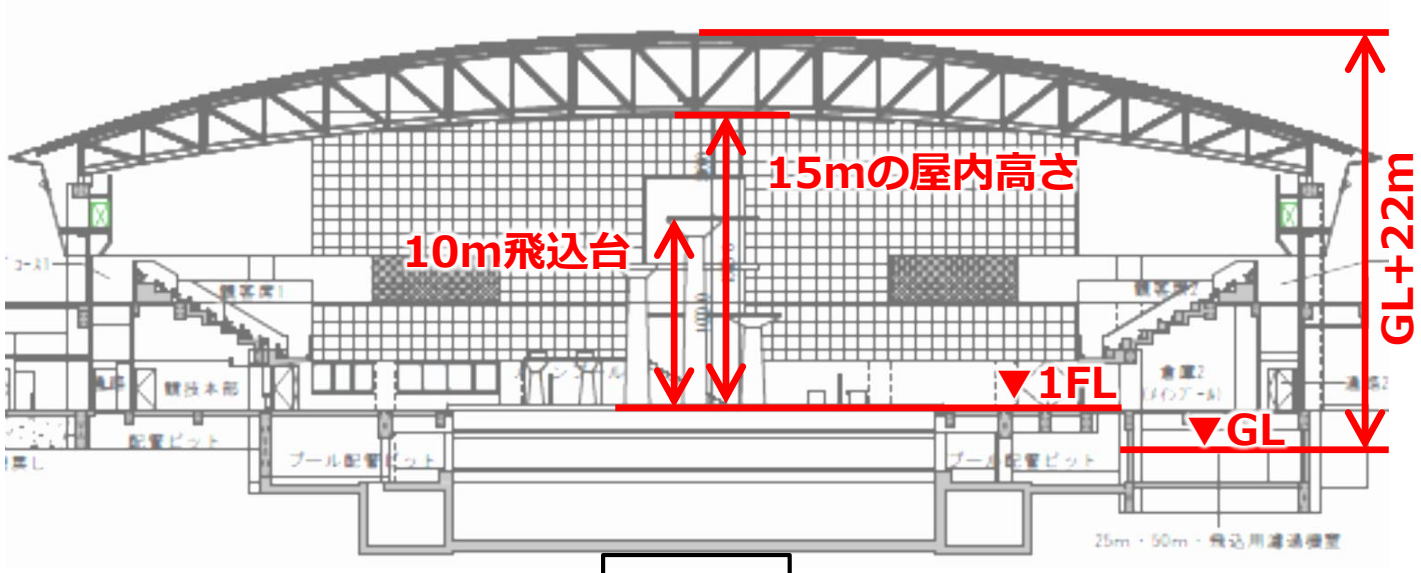
屋内水泳場の計画

水泳場には、50mプール、25mプール、飛込プールを整備します。

飛込プールは公認を取得する上で水面から天井まで15m以上の高さが必要です。

そのため、屋根まで含めて22mの建物高さとなります。

水泳場配置イメージ



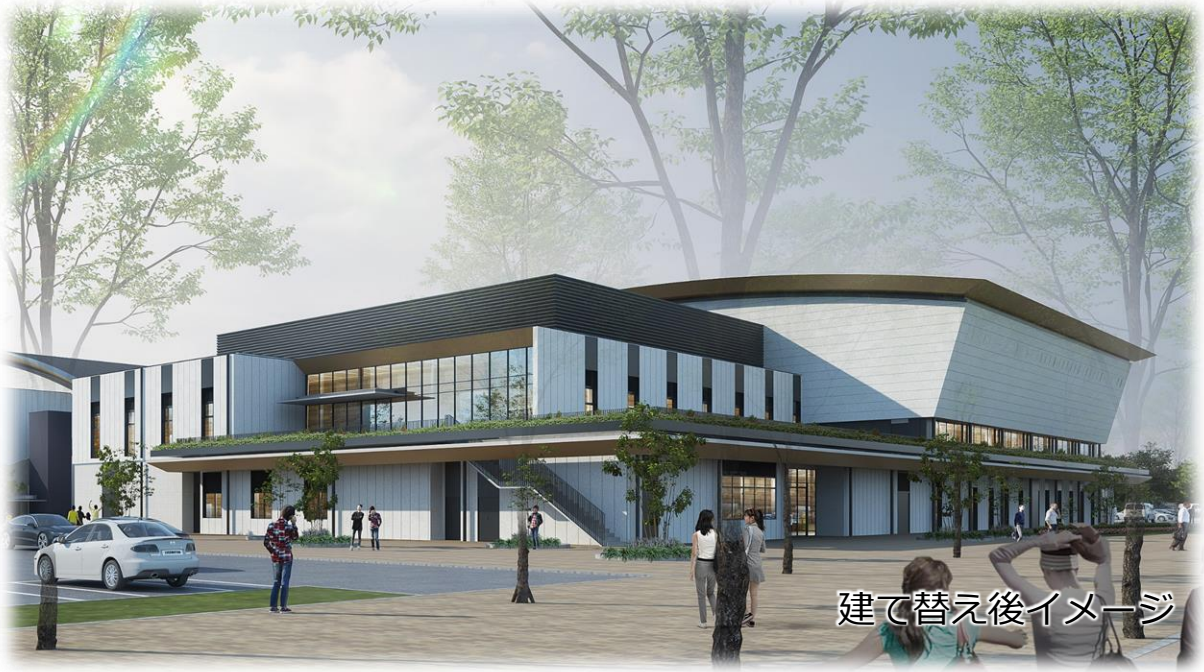
断面図

メインプールゾーン配置イメージ

1.公益性　事業の主旨について　市施設：川口市北スポーツセンター及び神根西公民館

築50年以上経過し老朽化した既存の北スポーツセンター及び神根西公民館の建て替え整備を行う。

既存施設


建て替え後イメージ

・老朽化した既存施設を県プールと一体施設として建て替えを行います。

・市民大会や中学生の大会など開催可能なスポーツ拠点を整備します。

・地域交流の拠点となる公民館を併設します。

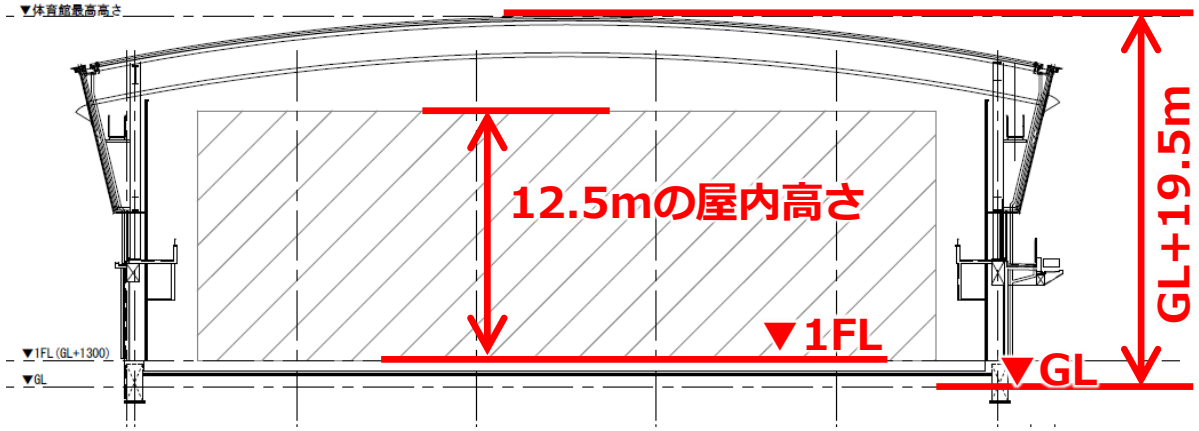
1.公益性　10mを超える理由　　市施設：川口市北スポーツセンター及び神根西公民館

体育館の計画

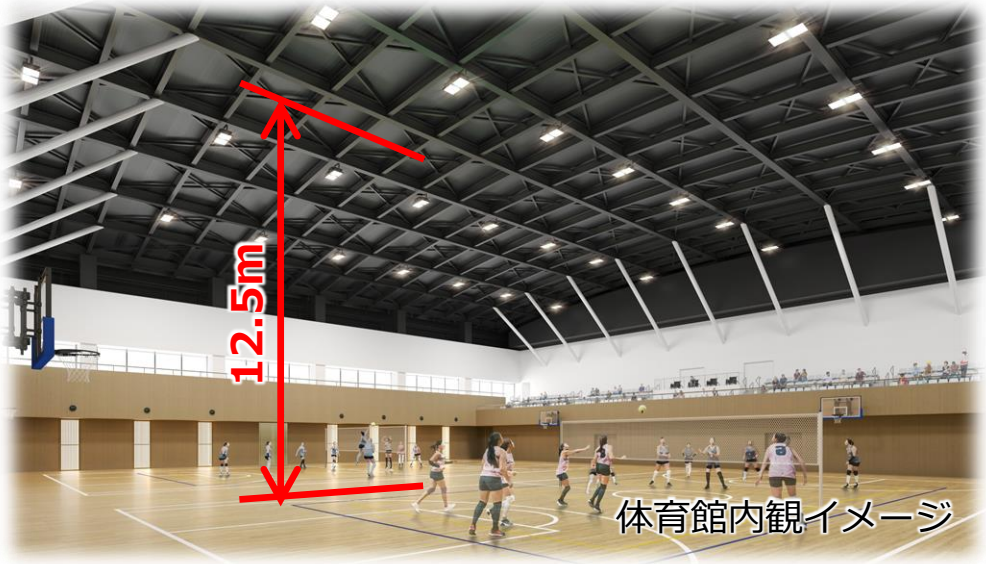
北スポーツセンターには、体育館を整備します。

体育館はバレーボール競技として最高で12.5mの屋内高さ（国際大会や日本バレーボール協会主催大会の基準）が必要となります。

水害に配慮しGL（地盤面）から1階床高さを約1m上げ、屋根構造体の高さを約6mの範囲で計画し、GL+19.5mの建物高となります。



断面図



神根総合運動場全景イメージ
（南西より北東を望む）

2.周辺景観との調和　ひとや場所をつなぎ、にぎわいを生む

公園全体と調和し、ひとや場所を繋ぐ

人と緑を繋ぐ園路は公園の特徴的な動線です。南北の園路からそのまま連なる施設配置は、公園 ～ 市施設 ～ 県施設が動線的にも一体的となり、様々な利用者のにぎわいが生まれ、地域の活性化に貢献することで、公園と施設の調和をもたらします。

2.周辺景観との調和　地域の自然景観と調和した風景づくり

建物形状を活かした立体的な緑化計画

２階デッキ部分先端の建物周縁部に屋上緑化を設けることで段状の緑地を表現し、地域景観の特色である立体的な緑地景観との調和を図ります。

北中学校側からの
施設外観イメージ

2.周辺景観との調和　施設による近隣への圧迫感の軽減

近隣へ圧迫感を与えない配置計画

建物の周囲は近隣への圧迫感軽減のため敷地境界からセットバックした施設配置計画とします。

配置図

2.周辺景観との調和　地域の自然景観と調和した風景づくり

やわらかなスカイラインのアーチ屋根

プールと北スポーツセンターの屋根を同方向のアーチ形状とすることで、やわらかなスカイラインとなる屋根が、リズミカルで一体感のあるボリュームとなり、地域の立体的緑地景観と調和した新たなランドマークを創ります。

公園から連続した緑地景観

プールのアプローチから、北スポーツセンターとプールとの間へとつながる緑のミチを計画し、施設全体で立体的な緑地景観を表現することで、公園と調和したランドスケープを計画します。

北西からの施設外観イメージ

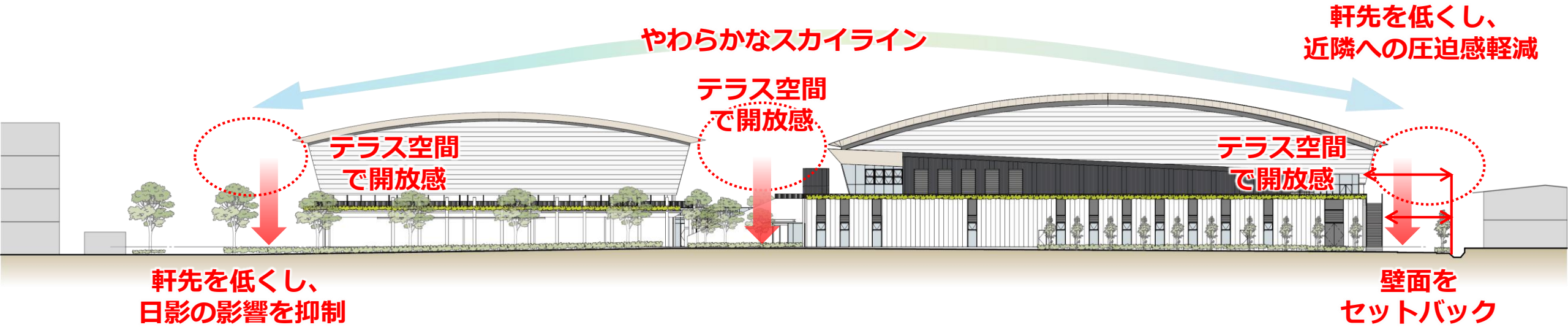
3.その他配慮　施設による近隣への圧迫感の軽減

高さと日影の影響を考慮した計画

やわらかなスカイラインのアーチ屋根は南北側の軒先を低くすることにつながり、近隣に面する外壁の高さと、日影の影響を抑制します。

上部空間に開放感を持たせた計画

2階にテラス空間を設け、メインプールと体育館のボリュームを1階外壁面からセットバックすることで、上部空間に開放感を作り、近隣への圧迫感を抑えます。



3.その他配慮　施設による近隣への圧迫感の軽減

圧迫感を和らげる外壁計画

２階のメインプールと体育館のボリュームは水平ラインを基調としたデザインとし、色彩は明度を上げることで周囲への圧迫感を抑えます。

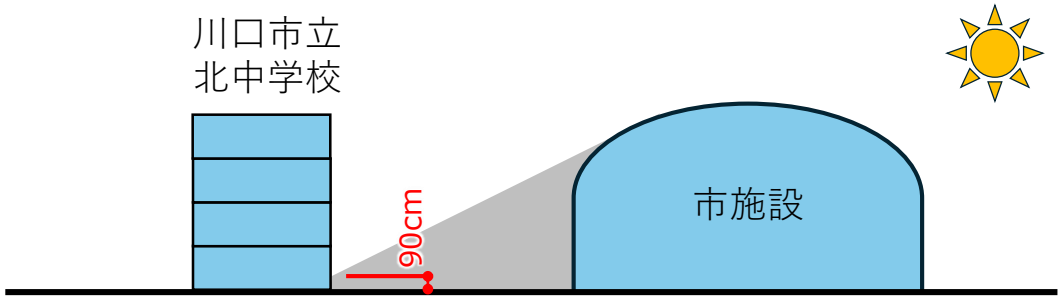
南西からの施設外観イメージ

3.その他配慮　川口市立北中学校への日影の配慮

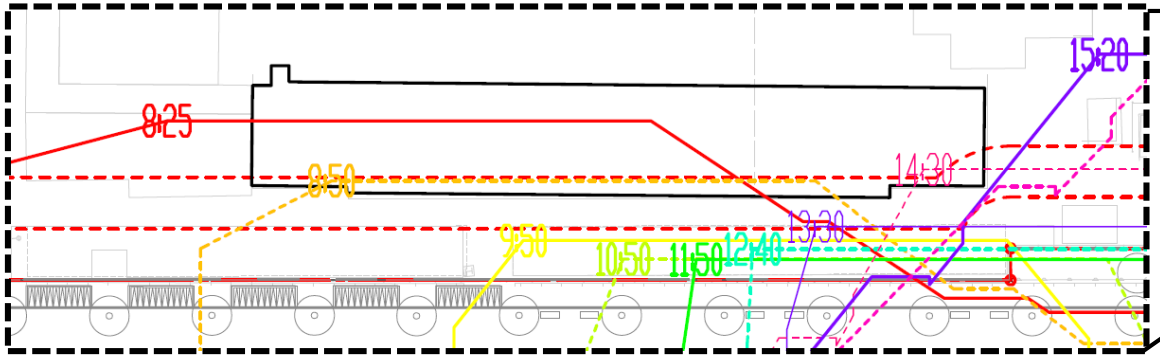
日影の影響を考慮した計画

川口市立北中学校の教室面には日影を生じさせないように配慮した施設計画とします。

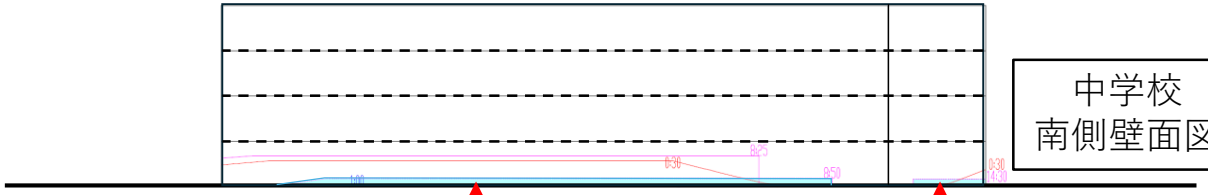
校舎南側の壁面に対する冬至の日影を検討し、授業時間帯では教室面に日影が落ちない計画とします。



8:50、14:30頃の日影イメージ



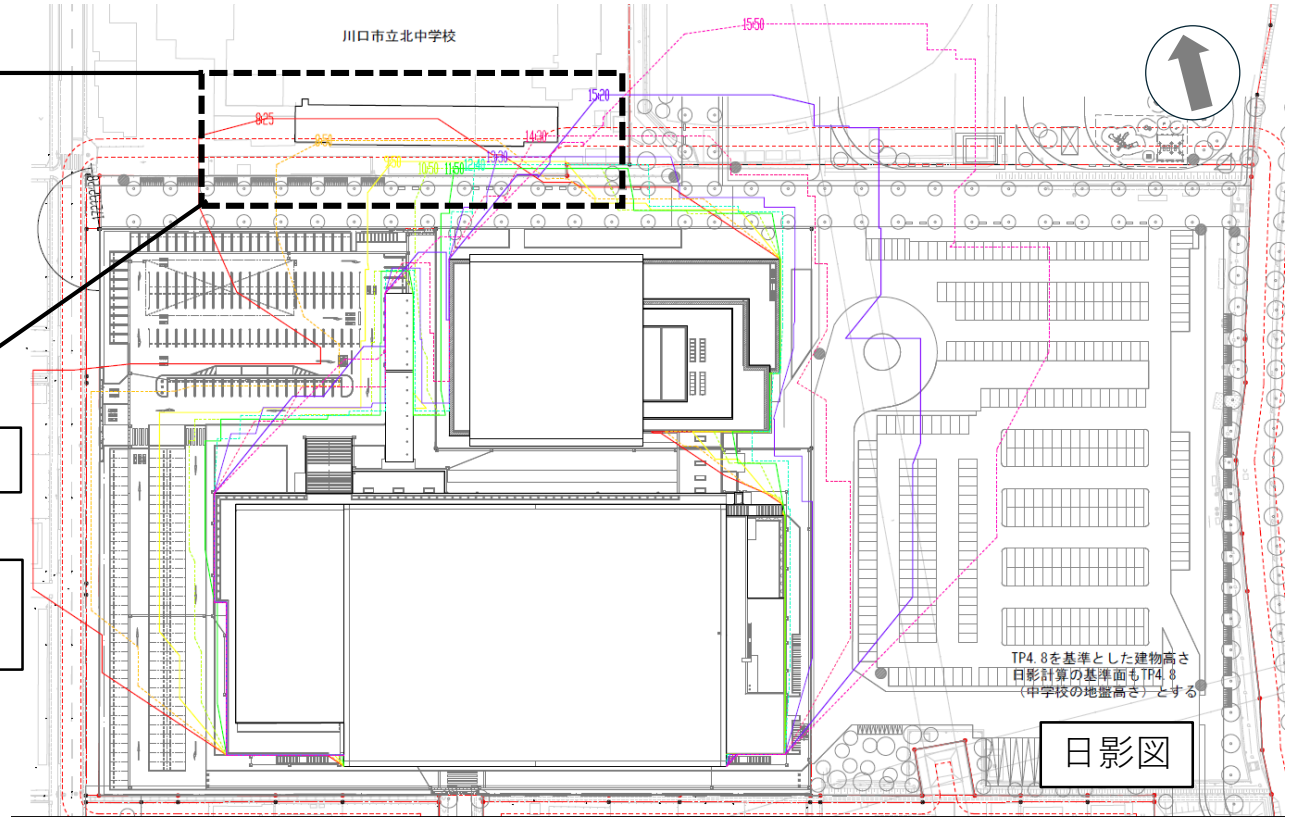
拡大平面図



中学校
南側壁面図

8:50以降に日影がかかる部分
GL＋H900の高さで窓の高さ以下

14:30頃に日影がかかる部分
GL＋H900の高さで窓の高さ以下

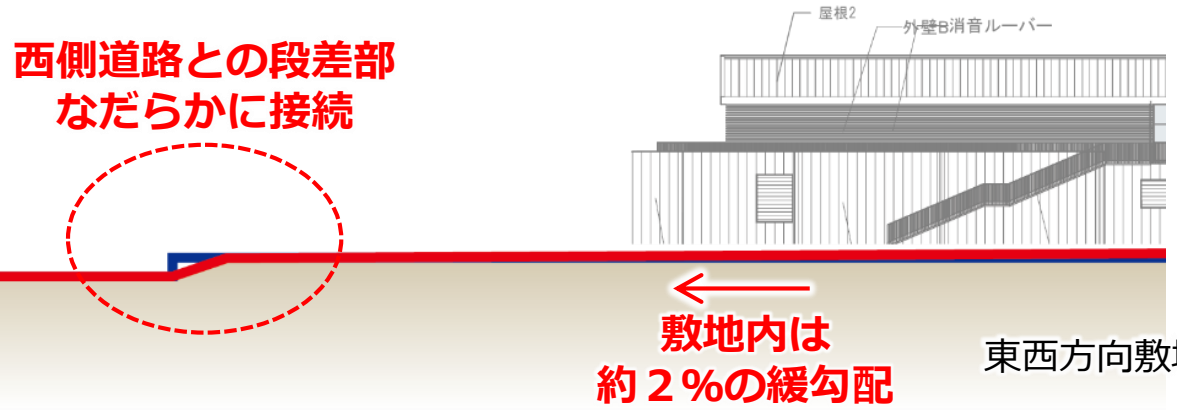


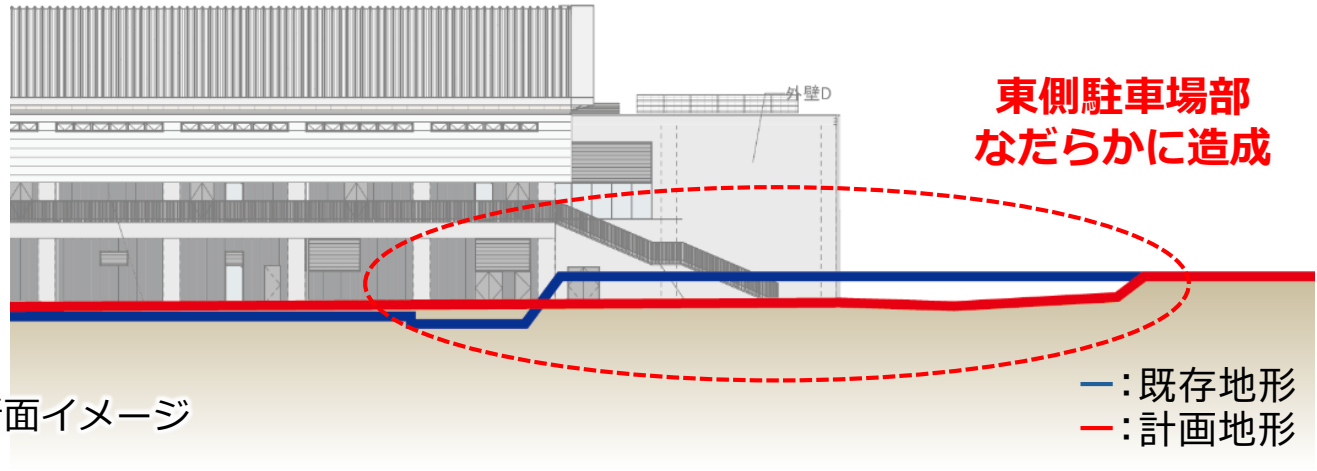
日影図

3.その他配慮　既存地形を活かした施設計画

既存地形を活かした地盤レベル設定

現状の地盤が周囲地域よりも高いという特性を活かし、なだらかに地盤レベルを繋ぐことで、浸水対策にも配慮した地盤レベルとし、近隣へ擁壁等の構築物による影響を及ぼさない計画とします。





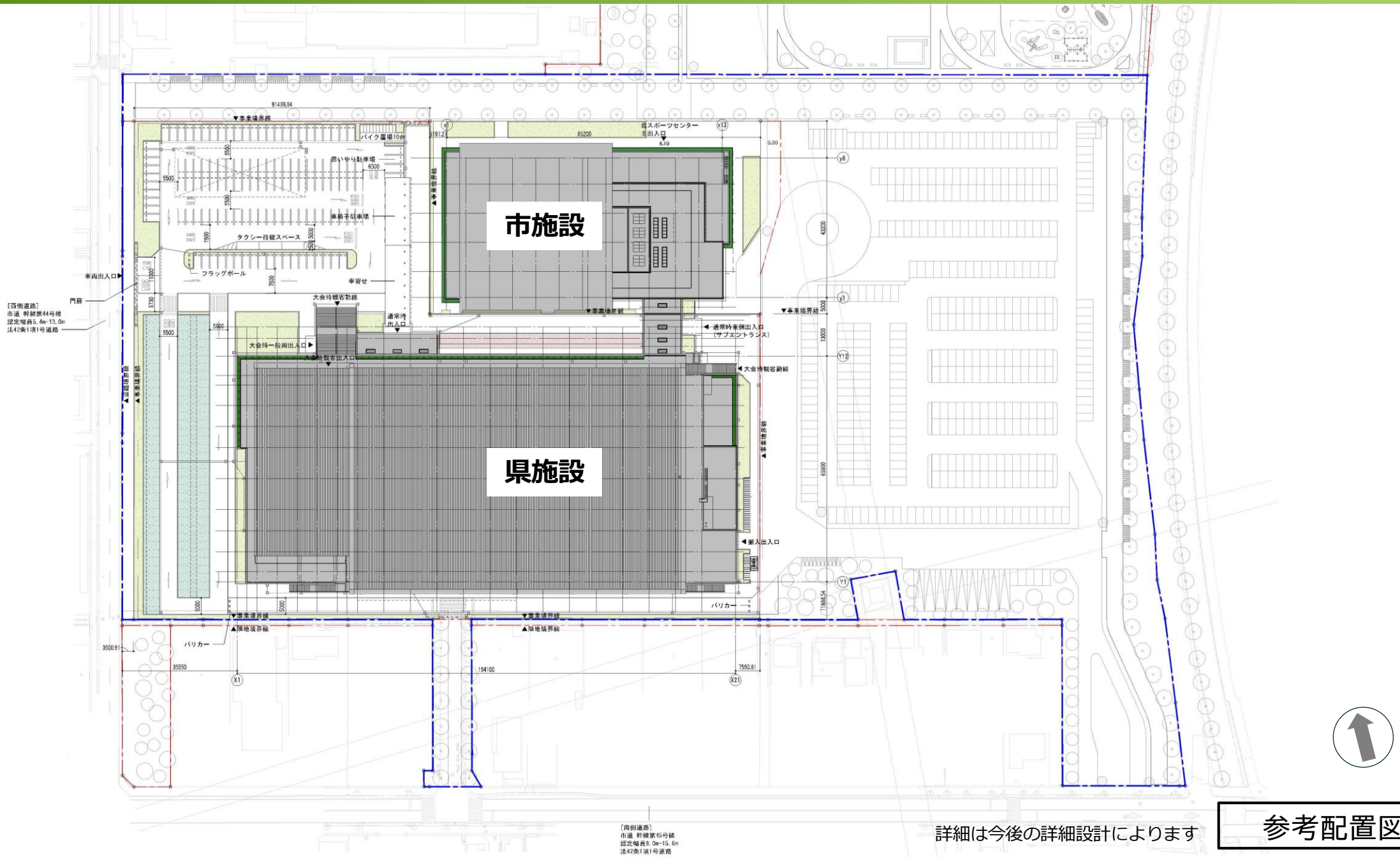
東西方向敷地断面イメージ

敷地西側現況写真

敷地南西側イメージ

埼玉県屋内50m水泳場・川口市北スポーツセンター及び神根西公民館　整備計画

参考

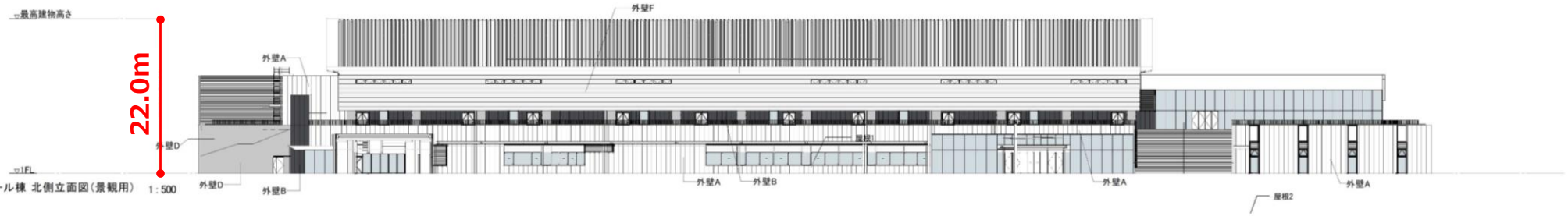


詳細は今後の詳細設計によります

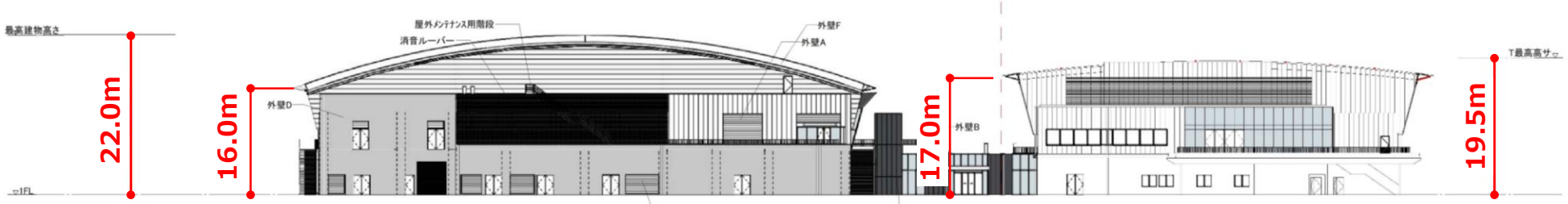
参考配置図

埼玉県屋内50m水泳場・川口市北スポーツセンター及び神根西公民館　整備計画

参考

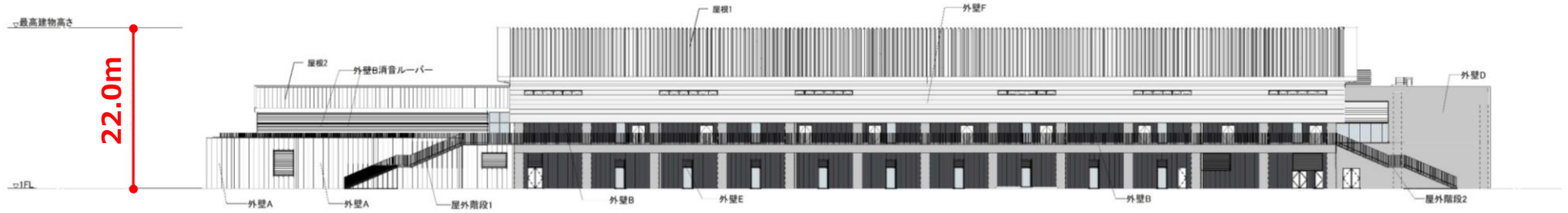


プール棟 北側立面図（景観用） 1：500

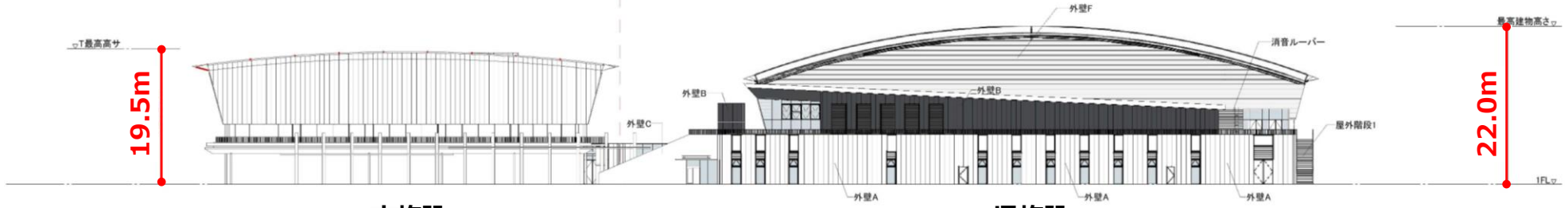


プール棟 東側立面図（景観用） 1：500

県施設　　市施設



プール棟 南側立面図（景観用） 1：500



プール棟 西側立面図（景観用） 1：500

市施設　　県施設

詳細は今後の詳細設計によります

参考立面図